

わかつく 和歌山を創る新聞

隔週金曜掲載

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp URL http://www.wnc.jp/
編集 志場 久起

「絶景の宝庫 和歌の浦」をより美しく！

今回は「和歌の浦」を守る地域活動と団体をご紹介します。特定非営利活動法人和歌の浦自然・歴史・文化支援機構の副理事長で、玉津島保存会の会長である渋谷高秀さんに話をお聞きしました。

始まりはボランティア

団体の連帯から

風光明媚な「和歌の浦」は、古くから万葉集の短歌の歌枕として詠われ、2010年8月に国指定文化財、名勝に指定されました。翌年5月、和歌の浦で活動する複数のボランティア団体が集まり、和歌の浦の景観をより良くするための清掃活動を「名勝和歌の浦クリーンアップ隊」としてスタート。

実際に「汗を流して頑張ろう」という気持ちの元に始まったこの活動、当初1回の定期活動は2回に増え、精力的に活動してきました。クリーンアップ隊はその活動を評価され、活動10年目となる昨年には国土交通省から「海をきれいにするための奉仕活動」の表彰も受けました。

文化財としての

価値を高めながら

2012年には「名勝和歌の浦」の自然・歴史・文化を守り、そ



地域一体となって

更なる進展を

活動の参加メンバーは最年長87歳から地元小学生まで幅広い年齢層にわたります。参加者のモチベーションも高く、地元地域の団体・企業・学校と協働することで、多い時には200人以上の人が集まるとい

の保全と活用を図りながら後世に伝えることを目指す「玉津島保存会」が結成され、各方面の文化財担当者を講師に招いた講演会を開催。清掃活動のみにとどまらず、文化財の保存運動のノウハウを共有することで、より効果的な取り組みを行っていきたくと考え、冊子「文化財担当者と学ぶ名勝和歌の浦」を発刊し、啓発につなげてきました。

その他、和歌浦地区で活動する団体と共に、春は「名勝和歌の浦・桜まつり」として短歌大会・遺跡巡り・餅つき大会を、秋は「名勝和歌の浦観月会」として竹灯籠を使用した幻想的な光の空間、竹燈夜や満月を楽しむイベントを開催することで、名勝和歌の浦を守り、慈しみ、楽しみながら、地域を盛り立てています。



【写真】左上：清掃活動に参加された有志のみなさん右：枝打ちをして景観をきれいに整備します。右・右下：清掃だけではなく、整備活動も実施します。



「地道に、持続的にやっていくことが大切」。渋谷さんはそう語ります。和歌の浦を訪れる人たちの満足度の向上、地域コミュニティの活性化を目指し、文化財を生かした和歌の浦の魅力発信するとともに、自然・歴史・文化を次世代へ伝えていきます。

(阪口晃彦)

【今後のクリーンアップ運動予定】

- ◇第226回 玉津島神社
【日 時】2022年11月20日(日) 9:30～12:00
【集合場所】玉津島神社
- ◇第227回 和歌浦天満宮
【日 時】2022年12月4日(日) 9:30～12:00
【集合場所】和歌浦天満宮
- ◇第228回 紀州東照宮
【日 時】2022年12月18日(日) 9:30～12:00
【集合場所】紀州東照宮
※クリーンアップ参加者については駐車場は無料となります



特定非営利活動法人 和歌の浦 自然・歴史文化支援機構
https://npomeisyowakanourasien.jimdofree.com/
名勝和歌の浦 玉津島保存会
https://wakanoura.exblog.jp/
団体の最新情報も随時配信されています。

ハートポケット倶楽部 × わかやまNPOセンター

締め切り間近！

第15回和歌山地域貢献活動応援基金 わかやまいきいきファンド 助成団体募集！

全国の花王グループの社員有志のみなさんが毎月1口50円を任意の口数積み立てて、NPO・ボランティア団体を支援する「花王ハートポケット倶楽部」。「わかやまいきいきファンド」は、同倶楽部が、和歌山県内でがんばるNPO・ボランティア団体を対象とした活動助成をおこなうプログラムです。これまでにのべ100を超える団体が助成を受けています。このたび、第15回の助成プログラムの助成団体を募集いたします。

活動歴2年以内の団体対象
スタートアップ支援事業
5万円を4～6団体に助成します。

活動歴2年以上の団体対象
パワーアップ支援事業
10万円を3～4団体に助成します。

※助成総額は60万円です。審査の結果、各部門の助成団体数を決定します。

応募方法
特設サイト (http://www.wnc.jp/kao/) から募集要項と応募用紙をダウンロードください。募集要項をよくご覧のうえ、応募用紙に必要事項を記入いただき、ご応募ください。
応募は郵送・FAX・電子メールのいずれかで受け付けます。
対象となる事業の実施期間は2023年4月から2024年3月まで。活動の様子は団体のブログまたはFacebookページでご紹介ください。2024年5月に事業報告を提出いただけます。

締め切り
2022年11月17日(木) 消印有効

郵送の場合は
〒640-8331 和歌山市美園町5-6-12
わかやまNPOセンター宛
FAXの場合は 073-423-8355 (送付状不要)
電子メールの場合は info@wnc.jp

申請相談
申請に関する各種ご相談は和歌山県NPOサポートセンター(和歌山ビッグ愛9階)で承ります。
開館時間 火曜～土曜 9:00～20:50
日 曜 9:00～17:30
月曜・祝祭日は休館です。
ご相談希望の方は事前にご予約ください。
TEL 073-435-5424
E-mail info@wakayama-npo.jp

主 催 花王ハートポケット倶楽部・花王株式会社
企画運営 認定特定非営利活動法人わかやまNPOセンター
TEL 073-424-2223 (火曜から金曜10時～17時、不在時は和歌山県NPOサポートセンターに転送)
E-mail info@wnc.jp

SAVE JAPAN プロジェクト 2022-2023

生き物いっぱい！棚田復活大作戦

棚田に関することをたくさん学び、棚田を未来に残していくために何ができるのか、一緒に考えていきましょう。

【対象・定員】小学生～高校生20名(応募多数の場合は抽選)
※棚田までの公共交通機関がないため、保護者同伴をお願いします
※全日程参加可能な方を募集しています
【締め切り】11月20日(日) 【参加費】無料
【場 所】紀美野町中田の棚田、紀美野町立農村総合センター

【スケジュール】
第1回 11月27日(日) 9:00～12:00 場所：中田の棚田
棚田の希少生物、中田の棚田の活動や農業についての説明、再生活動前の生物調査
第2回 1月29日(日) 9:00～15:00 場所：中田の棚田
棚田の再生過程の説明、棚田の再生活動、再生途中の生物調査
第3回 5月28日(日) 9:00～15:00 場所：中田の棚田
田植え、田んぼの生物調査
第4回 7月23日(日) 9:00～15:00 場所：中田の棚田
田んぼの草取り、田んぼの生物調査
第5回 8月27日(日) 9:00～12:00 場所：紀美野町立農村総合センター
アカハライモリの模型の色塗り体験、プログラムの振り返り

主催 認定NPO法人わかやまNPOセンター
共催 紀美野町自然環境ネットワーク
NPO法人わかやま環境ネットワーク
小川地域棚田振興協議会
協力 認定NPO法人日本NPOセンター
協賛 損害保険ジャパン株式会社
後援 和歌山県・和歌山県教育委員会・紀美野町・紀美野町教育委員会

詳細はこちらをご覧ください。お申し込みも可能です！